

様式第2 (第5条、第8条関係)

該当する部分以外は二重線で消す。

特定施設使用(変更)届出書

実際に届出書を提出する年月日を記入

年 月 日

尼崎市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。  
工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付  
【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇市〇〇町〇-〇-〇  
届出者 □□株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇

変更等しようとする特定施設の水濁法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2の番号及び名称を記載

瀬戸内海環境保全特別措置法第7条第2項(第8条第4項、第9条)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□□□株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇-〇〇 〇〇市△△1-1-1	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71号の2イ 洗浄施設 71号の2ロ 焼入れ施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	<p>特定施設を変更等しようとする工場・事業場の名称、住所を記載</p> <p>【使用届出の場合】 別紙(申請事項内容及び1~7)について記載する。</p> <p>【変更届出の場合】 変更事項のない別紙は省略することが出来る。なお、変更した部分については、二段書きとし変更前は上段に赤字で記載。</p> <p>※別紙(申請事項内容及び1~7)は特定施設設置(変更)許可申請書の記載例を参考に記載してください。</p>	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。		
△排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
  - 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 4 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。